

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年12月17日(2020.12.17)

【公開番号】特開2019-76563(P2019-76563A)

【公開日】令和1年5月23日(2019.5.23)

【年通号数】公開・登録公報2019-019

【出願番号】特願2017-206848(P2017-206848)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和2年10月29日(2020.10.29)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

設定された設定値に基づいて、有利状態に制御可能な遊技機であって、複数の設定値のうちのいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、操作を行うことで所定状態から特定状態となることが可能な操作手段と、前記遊技機への電源の供給が停止した場合であっても、記憶内容を保持可能な記憶手段と、

開閉可能に設けられ、開状態であるときに前記操作手段への操作が可能となる開閉部と、

エラー報知を行う報知手段と、を備え、

前記報知手段は、

特定条件が成立しているときに、前記開閉部が開状態である場合には前記エラー報知を行わず、

前記特定条件が成立していないときに、前記開閉部が開状態である場合には前記エラー報知を行い、

前記設定手段は、

前記操作手段が特定状態となったときに設定値の設定が可能となり、

前記操作手段が前記特定状態から前記所定状態となったときに前記設定値に関する情報を前記記憶手段に記憶させる、ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 4】

特許文献1に記載された遊技機を含む従来の遊技機においては、不正を防止することが望まれる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この発明は、上記の実状に鑑みてなされたものであり、不正を防止することができる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

(a) 設定された設定値に基づいて、有利状態に制御可能な遊技機であって、複数の設定値のうちのいずれかの設定値に設定可能な設定手段と、操作を行うことで所定状態から特定状態となることが可能な操作手段と、前記遊技機への電源の供給が停止した場合であっても、記憶内容を保持可能な記憶手段と、

開閉可能に設けられ、開状態であるときに前記操作手段への操作が可能となる開閉部と、

エラー報知を行う報知手段と、を備え、前記報知手段は、

特定条件が成立しているときに、前記開閉部が開状態である場合には前記エラー報知を行はず、

前記特定条件が成立していないときに、前記開閉部が開状態である場合には前記エラー報知を行い、

前記設定手段は、

前記操作手段が特定状態となったときに設定値の設定が可能となり、前記操作手段が前記特定状態から前記所定状態となったときに前記設定値に関する情報を前記記憶手段に記憶させる、ことを特徴とする

このような構成によれば、不正を防止することができる。
なお、遊技機は、以下の構成であってもよい。

(1) 遊技者にとって有利な有利状態（例えば大当たり遊技状態）に制御可能な遊技機（例えばパチンコ遊技機1）であって、

前記有利状態に制御されることを示唆する示唆演出（例えばリーチ演出）を実行可能な示唆演出実行手段（例えば演出制御用CPU120）と、

前記示唆演出に対応したタイトルを報知可能なタイトル報知手段（例えば演出制御用CPU120）と、を備え、

前記タイトル報知手段は、前記示唆演出の開始から所定期間経過したときに当該示唆演出に対応したタイトルを報知可能である（例えば図9（D）、（F））。